

国語プリント No. ( )

年 組 番 名前

配布日 月 日 曜

## 韻文<sup>いんぶん</sup>を読むポイント

〔韻文とは？〕

「韻文（いんぶん）」とは、詩・俳句・短歌などのリズムや語呂を整えた文のことである。小説や評論文と違って短い文章になる。短い文章になるということは、省略されている（書かれていない）ことが多いということだ。

〔なぜ省略するのか？〕

いろいろな理由が挙げられるが、共通するのは、省略した方がうまく表現できるからである。音数が決まっている韻文（定型詩 《例》俳句…… ・ ・ ・ ・ ・ 短歌…… ・ ・ ・ ・ ・ など）は、省略せざるを得ない場合がある。しかし、自由律詩の場合は、音数は書き手にゆだねられている。しかし省略が多い。省略が多いと、われわれは省略されていることを自由に補って読むことになる。そうすることにより表現されている世界が自分のイメージする世界となったり、想像しうる無限の世界になる。

〔どう読むのか？〕

そこで本題だが、韻文を読むときは、何が省略されているかを考えて、見つけて、それを想像して読むといい。しかし、「何が書かれていないか？」というのは、「何が書かれてあるか？」を探すより難しい。想像力と創造力を駆使しなければならない。そこでよく提示されるのは5 W 1 Hだ。

〔5 W 1 H〕

- ① Who (誰が？誰に？誰と？……)
- ② When (いつ？1年のうちのいつ？1日のうちのいつ？……)
- ③ Where (どこ？どこへ？どこから？どこに？……)
- ④ What (なにが？なにと？……)
- ⑤ Why (なぜ？どうして？……)
- ⑥ How (どうやって？どんなふうに？どのくらい？どんな状態？……)

もちろんこれ以外のことも省略されている場合もあるし、省略されていることが明らかにならないこともあるが、基本的にはこれらのことを見つけていく（見つけようとしていく）と、表現された世界がはっきりしてくるだろう。つまり、韻文をはじめとする文学作品の学習は、「書かれていないことを読む」ことなのだ。

〔練習〕次の百人一首のなかの一首について書かれてあることやいいことを読んでみよう。

33 ひさかたのひかりのどけき春の日にしづ心なく花の散るらむ

① Who 誰がいる？誰という？誰が思っている？どんな人？年齢は？
② When 1年のうちのいつ頃？季節はいつ？その季節のいつ頃？一日のうちのいつ頃？
③ Where 場面はどこ？話者がいるところはどんなところ？
④ What 「花」って何の花？「ひかり」って何？何がそこにある？天候は？……
⑤ Why どうして話者はそんなことを思っている？
⑥ How どのくらい散っているの？「花」はどんな状態？……

〔まとめ〕

①～⑥で読み取ったものを参考にして、この歌の鑑賞文を書いてみよう。